



日不
報許
社編
印刻

教林新報

第六號

明治六月

定價新貨三錢

西垣文庫
文庫10
7284
3



教林新報緒言

智及ヲ淬磨セザレバ方寸ノ百魔ヲ研断スルニ足ラズ
人民有生ノ始メ良知良能ノ天賦アリト雖モ情慾ノ所侵
何啻一端ノミナラン智及ノ銳利之ヲ断スルニ非ズンバ
莫ク餘ク其真ヲ保全スルヲ得ン而シテ致知ノ功性理ノ
學專心循到ノ工夫由ルモ亦聞見省察ノ裨益ヲ資ザル
マカテハ乃新報所載時事世説危言瑣語ノ如キ之ヲ所讀
シテ其要ヲ得バ留省察ノ裨益タラザルナシ然則是ニ由
テ其靈ノ性ヲ培養シ明敏ノ才ヲ暢發スル一助トスルヲ
得バ我教會ノ素志ニシテ新報モ智及ノ礎石トナルニ
庶幾カラント

教林新報社記

西 文 庫

5764



教林新報第六號

明治五十七申年

○京 都府より教導職管事の義神官僧侶ハ勿論官負
の内より兼務不苦御達ニ付別紙の通取極申候云
々 伺以相成一取則御聞届ありと云

別紙

- | | | |
|---------|------|------|
| 天台宗管事兼務 | 九等出仕 | 横井忠直 |
| 新古真言宗同 | 大属 | 柏村寛藏 |
| 浄土宗 同 | 大属 | 綾野英立 |
| 禅宗館齋曾洞同 | 権大属 | 福岡義偉 |
| 黄檗宗 同 | 十等出仕 | 中村 勤 |

教林新報第六號

真宗管事 東本願寺末 圓覚寺順明

日蓮宗管事兼務 権典事 関屋生三

時宗 同 九等出仕 木村文郷

神宗 同 十一等出仕 出雲寺定信

香港刊行中外新聞抄譯

英国議院にて陸兵二万名を裁減せんと欲する者ハ
英国軍糧及び諸款の用度皆租税より出故ハ民心年
貢の多きより陸軍を省バ年貢減せんと思へバあり
按じルハ英国水師海上ハ雄甲より陸軍の如きハ省
畧しテ年貢を輕んむべし然と雖も論者云英国水師

雄なりと雖も陸軍ハ省くをからざる察するハ英国の

意ハ諸国和睦長く太平を享するハ他国兵乱ありと雖

も裁局外ハ居ても甲兵用ゆるハ及ぶと然ども事

膠執るハからむ若又美國償と争論する如きハ万一

変あらハ陸軍用ひざるべからむ又魯国或ハ印度ハ

事あらハ水師功と做を能て陸軍用ひざる能て

を又普国荷蘭及び卑弱の国ハ事あるハ英国の屬地

とありと雖も唇齒の国あり局外ハ黙然と能てし

テ陸軍用ひざる能ん況ヤ亞再蘭境現ハ自ら律法と

立テ管轄と行ふんと欲し紛々安せむ陸軍何ぞ不足

の勢ひありし可んや

電信報抄譯

英國の信云日本國の新なる瀛車を創立し東京より横濱に達せし其間七里餘山と崩し海と埋め従前の人家に障碍ありしを通行要時に達を衆時間と費さむ是誠の莫大の功業茲に其功役竣り九月十二日國王百官と率以鑾御親視し玉をせ夫より火車の御し横濱に啓行を國人輦較に隨く仰望する雲霞のどとくありと

又云法國廢主の子國に返りしが統統官參亞是を追

逐せり廢主の子のくぐ思ふ様救と顧むるも左迄

遠く爲とみ及ぶと途の中も悠々然として有

繫故郷と見返るが依然として盛んありて我獨り寂

莫と枯落獨夫とある身とるる小落涙せらる

しが尚不軌と謀りし事覚と參亞役負の命に廢主の

子と執えし郵送しと瑞士國の界迄抵り

教部省より官幣社大少官司へ御布達の手

昨年来官幣社改正被仰出追々神宮新任に仰付候

得共祭式并ニ一社經費の定額ハ未ダ御定無之ニ付

昨年今年共先旧社領五分通り御渡シ相成候得ハ総

而從來、振合斟酌取賄儀兼テ相心得可申就テハ
 縱、祭式等御一定無之共臨時費用ノ外ハ右五分通
 リノ内ヲ以當十月ヨリ來秋迄一ケ年諸費用ノ目的
 相立祭式關典不立至様取賄可申答ノ所免角曰習ニ
 因循致候ヨリ間ニハ數ヶ月ニシテ右五分通リ遣拂
 ヒ苦情申立候向モ有之不都合、次第ニ候元來管幣
 社ハ諸神社ノ摸標神官ハ諸民ノ先導ニ候得バ朝旨
 ヲ遵奉シ舊習ヲ洗脱可致答ニ付向後舊社領ノ有無
 ニ不均祭典共ニ一社費用共公私ノ區別判然相立万
 事致改正冗費無之様注意可致候尤不都合ノ廉有之

候得、取調當省へ可伺出候事

但官祭ハ先別紙ノ通り相定其他ハ一社ノ私祭ト
 相心得可申事

壬申十一月

別紙

- 祈年祭 新嘗祭 例祭 元始祭
- 天長節祭 西度祓式
- 右年中一度ノ大祭

深川榎本氏ノ別荘於ニ神官僧侶集會ノ事
 夫水ノ枝あり流ノ派あり自然ノ理ホシテ然らざる

文木所段与下帝

事を得ざる者あり我國教固より一定の理あり神
 と以て幹とし佛と以て枝葉とし政化を翼賛し治體と
 裨益を事一千餘歳一日の如し然り而して氣運循
 環一盛一衰あり能く是亦時勢の然らざるあり
 是を以て祠官僧侶支分派別各門戸の見を張て柄鑿相
 客ざるに至る然とども皆是國教を尊奉するの精忠
 より出づるはかき今茲壬申十一月初二日祠官僧
 侶深川扇橋榎水六兵衛子の別荘に集會し門戸の舊
 習を一洗し同心協力して大に教法を恢張せんと欲
 するは於てや枝の木不就る如く流の海に歸するが

如く倍々其根と固く其源と深し教職の基礎と確
 定とべし方今百般更改の際に値ひ我國教も隨て進
 歩し文明日新の域に躋る豈昭代の一美事ありや
 満天下の祠官僧侶夫此に注意し相資て普く教化を
 四民に播が國教活用の實驗と奏せん事眼と刮り待
 べきなり

童蒙理言

往古何れの君侯ありけん家臣多く仕り中も近習
 の士に欲心深き者と人と妬む癖あり者あり一が君
 侯或時而士を召さば汝等何事して予に望め跡よ

り望^まし者^の前^の望^とし者^の一倍^と與^へんと在^る
 一^の多^く欲^むの士^の何^れ事^もあ^らず彼^の一倍^と得^んと思^ふ
 ふと以^て口^外せ^む又^も妬^心あ^らず士^の我^の初^言と吐^き
 小^の倍^せら^るん^の妬^き事^と是^も等^{しく}口^外せ^む而^も
 士^の暫^時默^然な^らば君^の疾^まと急^がせ給^ふ本^は是^も於^て
 妬^心あ^らず者^のあ^らず彼^の奴^の例^の欲^心あ^らず一倍^と得^ん
 んと欲^むし初^言と吐^き見^えよ^く詮^術あ^らず則^ち面^面
 前^の進^と臣^の片^の眼^と核^とい^はし請^けい^は易^き
 肝^望あ^らず其^の眼^と核^とい^はし扱^一人^の西^の眼^と
 と申^す核^とい^はし思^ふ君^の許^し其^の事^非け^り

と実^は妬^心あ^らず者^の斯^のごとく人^の榮^利と障^碍せ
 んと^く殺^破滅^と顧^らず者^の依^令バ血^と含^て人^の
 吐^きけ^んとせ^ば先^其口^穢ら^ずが^ぞと^くあり

加藤九郎教部省へ建白ノ字

今^般教^部省^ヲ置^セラ^レ天^下一^般三^條ノ旨^趣ヲ布^演
 シ宇^内萬^國迄^モ光^被セ^シレ^ト欲^シ玉^フ一^定ニ一^一
 一^大盛^舉ト謂^ベシ是^ニ於^テ臣^側カ^ニ此^舉ヲ聞^テ亦^ハ
 躍^ニ任^ス蹶^然起^テ東^上シ辱^ク官^負ノ末^ニ列^シ覆^載
 ノ鳴^恩ヲ感^戴ス然^而熱^ラク天^下ノ形^勢ヲ視^察スル
 ニ未^タ教^部ノ旨^趣ヲ辨^ハザ^ル者^十二^三四^{アリ}是^ヲ

以テ異議紛紜^ク駁^ス訴^ス一ナラス甚ニ至テハ教部ハ吾朝
ノ餽^キ羊^{ヨク}ナルカ故ニ之ヲ廢スルニ如カバト云者アリ
豈長大息ナラズヤ夫教ハ天下人心ノ歸嚮^キスル所ナ
リ故ニ政ト教ト一途ニ出ザル時ハ人心安カラズ人
心安カラザレバ國治^キラス廼^ハチ教ハ世治ルノ本トス
豈忽ニス可シヤ若コレヲ忽ニセバ異教乍ニ其釁^クヲ
伺^ヒテ侵凌セント欲スルヲ掌^チヲ反ス如シ然則教法ハ
一日モ廢スベカラズ廢ス可ラザル時ハ必ズ當ニ一
層進歩セシメテ其事ヲ盛大ニセバシバアル可カ
ラバ申迄モ無^ク之^レ得共昔者碩學^{セキ}英傑^{セキ}世ニ出テ上

王公郷伯ヨリ下兆民ニ至マテ誘導^{サウダウ}ノ政教ヲ輔^サケ人
心ヲ周結スルヲ豈他アランヤ蓋^ヤシ人ヲノ信服セシ
ムル道理アレバナリ道理トハ何シヤ所謂敬神愛國
天理人道勸懲報應等ノ莫^クヲ説テ人心ヲノ自ラ感動
スル所^ヲ理アレバナリ故ニ頑僻偏固ノ瑣論ヲ打破
シメ西洋各國ノ如ク安息日ニハ
上御一人ヨリ左右ノ大臣ヲ始下庶民ニ至ルマデ必
ズ大教院ヲ請^ヒシテ三章ノ要議ヲ聽聞シ自ラ信シ人
ヲノ信シメバ延喜天曆ノ治何ノ難キカ之アラシ
ヤ臣^シ竊^ヒカニ教旨ノホタ天下ニ通徹セザルヲ憂フ

教本新報 第六卷

是ヲ以テ上之ヲ好ソバ下自ラ之ニ從フノ理ヲ推ラ
獻芥ノ微衷ヲ表スルテ此ノ若シ僭踰ノ罪逃ルニ
地ナシ誠恐々々頓首々々

○日々新聞二百五冊ハ勢州ノ來書中ノ説教と
聽聞ハ其世話掛リノ者聽衆と聞列とあり其中聾
者ニ當リて名代と出たりと記すハ今彼神宮教
會より右ノ無稽ノ妄説あり一時世話掛リと立一事
ありども人々自主ノ權を妨げ驅迫して名代と出
しむる理萬々無之との再報ありとあり

教林新報第六號

本局既ニ准允ヲ得テ此新報ヲ刊行ヒリ其趣旨前
ニ述タル如シ若諸社諸山告諭又説教上ノ高論其他
江湖ノ雜話ニ至ル迄資テ以テ教化ノ一端トナル
ベキ條件ヲバ必ク報シ給ルベシ其書ニハ極テ
住所姓名ヲ載ヒ給ヘ匿名ノ書ハ採入セズ蓋シ報
告上梓ノ規則ハ都テ日々新聞ノ例ニ倣フ然レモ
賣藥及ビ醫品發賣ノ告條ハ記載ヒス

官許教林新報本局

東京元大坂町
日報會社

諸國賣弘所

東京墨橋通二丁目 須原屋茂兵衛 越後新瀉 荒川太司

同 通二丁目 山城屋佐兵衛 駿州靜岡七軒町 須原屋善藏

國淺草茅町二丁目 須原屋伊八 尾列名屋本町上丁目 萬屋東平

同大傳馬町二丁目 弘文堂 甲陽八日町 富士屋傳左衛門

同神田鍛冶町 中外堂 勢島山田 藤原甚左衛門

西京東洞院三茶上丁 村上勘兵衛 上及厩橋立町 下妻屋藏八郎

同雷小路通三条下丁 須原屋平左衛門 若松大町二丁目 齋藤八四郎

大塚本町通心齋橋東ノ河内屋真七 陸前仙臺池蒸江 木村屋文助

武州旗本元弁天 活板社 武茂忍山島 原田清太郎

東京川原石町 村上勘兵衛 相及小田原取付花町 遠藤金八

大塚本町 書籍會社 非前山形 市村五郎兵衛

同内平町町 清新堂 下瀧渡山加村店 增耳堂市三郎